

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第3回笠間市男女共同参画審議会		
開催日時	令和4年11月30日(水) 午後1時30分～3時		
開催場所	笠間市役所教育棟2階 会議室2-2	事務局	市長公室秘書課
会議の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <非公開・一部公開とした場合の理由>	傍聴者数	なし
出席者	委員：江田委員、森委員、中嶋委員、仲田委員、石川委員、田口委員、保坂委員、鈴木委員、井出委員、大久保委員 事務局：(秘書課) 甘利課長、桑嶋係長、内藤、(アールピーアイ栃木) 森		
議題	(1) 第4次笠間市男女共同参画計画の素案について (2) 令和5年度事業計画(案)について		
議 事 (審議経過及び発言内容)			
1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 (1) 第4次笠間市男女共同参画計画の素案について 事務局 (資料に基づき説明) 質 疑 委員 56ページの指標項目「ユニバーサルマナーの推進に関する講習会」の参加者数は現状が30人で目標値が50人というのは少ないのではないか。 事務局 目標値は5ヶ年の延べ人数ではなく、年度ごとの参加者数としている。分かりやすい表記方法を検討する。 委員 ユニバーサルマナー推進に関する講習会の内容などが分かりやすく伝わると良い。 委員 ダイバーシティとは包括的であるべき。障がい者への配慮など福祉分野の内容も入っていると良いと思う。 委員 ダイバーシティは幅広い分野である。市としてどこかの分野に絞ったものでも良いので、積極的なアクションを期待する。また、笠間市の女性管理職増の取り組みを進めてほしい。 事務局 市としても女性管理職登用は、今後も積極的に推進していく。本日の意見も参考に計画書の内容を精査したものを改めて各委員に送付させていただく。 委員 市の女性職員の採用、登用だけでなく、非正規職員を正職員に登用できるような制度を望む。 委員 38ページの事業No.11で「男女共同参画の視点に立った教育・保育の実施」とあるが、義務教育にもダイバーシティの視点も取り入れていくということか。 事務局 基本目標としては「男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり」に掲げる事業ではあるが、男女共同参画の視点に立った教育は多様性理解促進につながるものであると認識している。			

委員 カタカナで表記されている用語が多いので、注釈を入れたほうが良いと思う。
事務局 今後注釈を入れていく。

(2) 令和5年度事業計画(案)について

事務局 (資料に基づき説明)

質疑

委員 若年層向け政治分野への参画啓発事業とあるが、日本のジェンダーギャップ指数の低い要因である、政治分野への女性の参画を進める事業を行ってほしい。また、ダイバーシティ宣言をしている市として、性別や年齢などを問わない啓発も必要である。

事務局 事業を行う際に、対象を幅広く設定する場合や対象を絞って行う場合などさまざまである。今回は、これから進路を決める若年層に政治分野への関心を高めてもらうため、若年層向けとしている。

委員 多様な生き方・働き方促進事業の「消防・防災分野における多様性理解促進講座」とはどのようなものか。

事務局 具体的な内容は今後決めていくが、想定として女性の消防職員の活躍推進につながるものや、障がいを持つお子さんのいる家庭を対象とした防災講座の開催などを検討している。

委員 各事業がどの基本目標に紐づいているのかわからない。事業ごとに基本目標の番号を振ってはどうか。

また、「若年層向け政治分野への参画啓発事業」だけ具体的な内容が無いので、どのような事業を予定しているのか追記してはどうか。

事務局 追記して次回の審議会で示せるようにする。

委員 女性リーダーの育成が重要である。

委員 令和3年度に若年層の育成として高校生向けに実施したライフデザイン講座などの企画も良かった。

事務局 今回の意見を参考に、今後、来年度事業の内容を詰めていく。

4 閉会